

# 令和7年11月10日(月) いちょうもみじやまぼうし 記入者 山崎・国沢

今日の主な活動：劇練習、園庭遊び

## <発表会練習>

ある子の衣装に大好きなゾウのワッペンが貼られていました。

「どういう気持ちで貼ってくれたのかな?」「頑張ってねの気持ちで貼ってくれた」ワッペンには思いが詰まっていて、その思いを子ども自身も感じていました。練習の時に衣装に着替え「やるぞ」という気持ちで劇練習に参加していました。

おひさまの森の大人たち、小規模の大人たち、保護者の人たちのみんなが年長のことを応援しています。その気持ちを受け取って「自分は何を伝えたいのか、どんな姿を見せたいのか」子どもたちと考えていきたいと思います。

セリフを言うときにドキドキしてしまう子が、勇気を出してセリフを言ったとき、子どもたち同士で「頑張ったね」と伝え合い、友だちの良いところを感じている姿も見られましたよ。



小さい子も見に来てくれました！



## <“自分が”というきもち>～先週金曜の午後～

園庭の冬支度。大人が洗っていると・・・

「なにしているの?」「〇〇もやりたい!」  
と言うなり、すぐに洗い始める年少の子たち。  
「最後まで全部やるからね!まかせて!」と、  
とても頼もしい一言。

“自分がしよう” “自分がやらなきゃ”

って思ったんだね。

洗い終わった後の手は冷たく、それでも、  
「たのしかった～！」と笑顔でした。

